

★ R.I.2660 INTERACT・NEWS ★



SCRUM

No.
33

海外研修報告 年次大会報告 クラブ活動報告



報告書

ホストクラブ：相愛中学・高等学校インターアクトクラブ

スポンサークラブ：大阪ロータリークラブ



目次

* 発刊にあたって	1
* 2007～2008年度 新入生歓迎報告会	2
* 2007～2008年度 海外研修報告	7
* 2007～2008年度 年次大会報告	25
* 麻薬・覚せい剤乱用防止運動大阪大会に参加して	37
* 献血キャンペーンに参加	38
* 各インターアクトクラブ活動報告	40
清風学園 I.A.C	
大阪桐蔭中学・高等学校 I.A.C	
浪速中学・高等学校 I.A.C	
四天王寺高等学校・中学校 I.A.C	
金光八尾中学・高等学校 I.A.C	
相愛中学・高等学校 I.A.C	
* インターアクトクラブ名簿	46
* 編集後記	53

<SCRUM No.33> 発刊にあたって

SCRUMには、その時々インターアクト活動状況が報告されております。

今年度は、能勢町での新入生歓迎会、香港海外研修、香港来日対応、四天王寺高校での年次大会、その他の活動に皆様のご協力をいただき誠に有難うございました。

この3年間インターアクトクラブを担当させていただき感じられますことは、インターアクトの活動をしている生徒たちのすばらしい目の輝きです。特に海外研修などで相手との触れ合うときの生き生きとした目の輝きはすばらしいと思います。

毎日の生活のなかでも友達の付き合いから広がる気持ちは、日本の国だけでなく世界中の国々が同じ地球上で生きておるのだ、ということ念頭において、国籍は違ってもお互いを理解し合う、そしていま生きている社会に感謝し、奉仕することで心豊かな人間に成長することが、インターアクトの目的です。

SCRUM#33にもインターアクトの活動状況が詳しく報告されておりますのでぜひ一読していただき、活動の参考にしていただければ幸いです。

末尾になりましたが。編集を担当されました相愛中学高等学校はじめ、ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

今後ともインターアクトの活動を宜しくお願い申し上げます。

2008年1月30日

国際ロータリー第2660地区
インターアクト委員会
委員長 田中 啓之

新入生歓迎会

平成19年6月3日(日)

於 大阪府立能勢野外活動センター

インターアクトクラブ新入生歓迎会

地区インターアクト委員会委員長 田中 啓之

皆さんこんにちは。

本日は皆様大変忙しいなか国際ロータリー第2660地区インターアクトクラブの新入生歓迎会に参加くださりまして、誠に有難うございます。

新入生の皆さんようこそインターアクトクラブへ。今日はクラブの先輩はじめ顧問の先生、ロータリークラブの先生方地区ローターアクト委員長の高橋様など、たくさんの人たちと交流できますことを大変喜んでおります。

さてインターアクトクラブですが、現在クラブ員は90名、顧問の先生20名、提唱RCの委員30名が活動しております。

その活動目的は要約しますと、地域社会への奉仕と国際理解を深めて、豊かな人間性を養うところにあると考えております。

前回は海外研修で、シンガポールやタイに行ったときですが、現地のインターアクト達は大変明るいのです。

彼らは日本製品を見たり使ったりして、日本という国を憧れの対象としており、いつか追いつけ追い越せと張り切っております。

彼らもたくさん悩みを持っていると思われるのに、それを態度に出さず、いつもにこにこ笑顔で接しているとしたらその包容力はたいしたもの。彼らと話しをしているインターアクトたちの目もいきいき輝き、すばらしい交流をしていました。

やはりインターアクトの活動は、豊かな人間性を養ううえで大きな意味を持っているのだなと感じた次第です。

インターアクトクラブの活動は海外研修のほか、活動報告やイベントを行う年次大会、活動報告誌SCRUMの発行や、新入生歓迎会、その他各校独自の奉仕活動などを行っております。

本日もこのあと野外炊飯など共同作業でコミュニケーションを図っていただきますが、ぜひ積極的に声を出してください。

また顧問の先生方、RCの皆様、この次世代を担う若い生徒たちをぜひご指導ご支援くださいまうよう、宜しく願い申し上げます。

最後になりましたが、本日の新入生歓迎会を担当いただきました、浪速中学、高等学校および大阪住吉RCの皆様、お世話いただき有難うございます。このあとも宜しく願い申し上げます。それではインターアクトクラブの皆様、関係の皆様の方々の今後の活躍を楽しみに、開会の挨拶とさせていただきます。

新入生歓迎会

大阪桐蔭高等学校 植村 美紀

今年初めてインターアクト部に入った私は、まだこのクラブがどういうものなのかははっきりと分らないまま、六月三日、能勢で行われた新入生歓迎会に参加した。

少し天気は悪かったものの、飯ごう炊さんやアクティビティをするのには適した気温だ。

能勢までの行き方がはっきり分らず、知らない人ばかり。とても不安になりながら私は朝、家を出た。そんな気持ちで向った新入生歓迎会には六校の学校が参加していた。

昼食のカレーを食べるため班に分かれることになり、それぞれの班には違う学校の人たちが集まった。

最初は緊張していて無口だった私。でも、カレーをつくる過程で協力し合ったり助けてもらったりして自然に仲良くなっていったような気がする。そして、カレーを食べるときには笑い合いながら食べることができたと思う。

私が何よりも感動したことは、みんながとても優しくしたこと。ロータリークラブの人たちも私たちに明るく接してくれて色々ところで私たちをサポートしてくれた。そして私たちが楽しめるように努力して下さっているのがとてもよく伝わってきた。

一日のうちの五時間という短い時間で、こんなにもみんなと仲良くなれたことに、私はとても驚いた。

普段は毎日が忙しく時間に追われている私。自分のことで精一杯で他人のことを気遣う余裕がなかったのかもしれない。

この歓迎会では、日常生活から離れ、時間をゆっくり過ごすことができ、いつもは味わえない充実した気分だった。全く話す機会がない他校の人たちとも仲良くなれてとても良い思い出になったと思う。思いやりのある人たちに出会うことができ、他人を思いやる大切さを学ぶことができた。

これからもこの歓迎会で学んだ大切なことを忘れずインターアクト部としての自覚をもって行動したいと思う。



新入生歓迎会

会主 主人 藤

相愛高等学校 上野 真由

新入生歓迎会が、能勢でありました。歓迎会には、6校が集まり、他校の人と飯盒炊飯やゲームをしました。

初めそれぞれの学校で座って開会式の挨拶を聞いている時の全員の顔が険しく「なんだか接しにくいな～。どうしよう。」と不安な気持ちになり「早く帰りたいな。」とっていました。

そして運命の時!「ハイ!それぞれ他校の人と班になって下さい。」と言われ、ドキドキながらも席に着きました。

そして席に着いたのは、いいけれど初めてと言う事もあって、皆下を向いて座っているか、目が合うとニコッと笑うくらいで「今日一日過ごせるのかな～。」とっていました。

そして最初に一緒にしたのは、飯盒炊飯でした。

「えっ! いきなり飯盒炊飯…?!」話もした事ない人と思ひ笑顔も出ませんでした。

しかし、一緒に野菜を切ったりしているうちに、クラブの事など話しをして、だんだんうちとけてきました。

後片付けが終わり、次は「ゲームをします。」と言われそのままグラウンドに連れられ「コミュニケーションをとります。」と言って班で一列になり肩をたたいては、手を取り「ありがとう。」と言う不思議な事しました。最初は、「変な事するな…。」とっていましたけど、してるうちに皆が笑顔になり、ただ肩をたたいて、ありがとう。と言ってるだけなのにスゴいな!と思いました。

そして、声を出さずに、手で合図をして同じ誕生日や、血液型の人と集まるゲームをして、お互いの事を知ってメインのゲームをします。輪になってミニボール5個ほどをパスしたり、フラフープを使って遊びました。

一つのフラフープを班で輪になって人差し指だけをフラフープにつけて立っている状態から、下に下げると言うゲームで、下げようと思ってもなぜかフラフープが上がってしまって下らないんです!!「一人一人が焦っているからダメなんだ。」と思ひ皆で息を合わせてすると、下がりました。それには私もビックリしました。そしてゲームも終わり、お別れの時…。

3時間ほどしか一緒にいなかったのに、なんだかスゴク寂しくなってきました。

その日、一日過ぎて解った事があります。

○コミュニケーションは、ささいなことでもとれるという事。

○仲よくなるのに時間は、いらぬという事です。

この一日は、スゴク楽しく充実した一日になりました。

